

日本で唯一！多職種連携と名の付く学会！

第4回滋賀県多職種連携学会研究大会を開催します！

学会テーマ 『 地域共生社会に向けた自立支援 』

支援者側が限界を決めていませんか？教育課程では習わないある意味「想定外の実例」から、障害のあるなしに関わらず、自立とは、社会参加とは、就労とは、共に生きるとは、だれかを支える・支えられるとは何かを一度深く考えて、明日からの業務に活かしてみませんか？

- 日 程 令和元年 12 月 14 日（土） 10:00～16:30（受付開始 9:30～）
- 場 所 コラボしが21 3階（滋賀県大津市打出浜 2-1）
- 主 催 滋賀県多職種連携学会
- 対象者 保健・医療・福祉・教育・就労等の関係者と障害当事者や家族
- 参加費 当日 2000 円（抄録有） 事前申し込み 1,500 円（抄録有）
学生・障害当事者とその介助者 1 名 無料（抄録なし 学生証・身障手帳等 提示）
抄録 500 円
- 内 容

- 基調講演 テーマ：「生きるとは何か？～地域共生社会に向けて～」
講 師：坂口 恭平 氏（建築家・作家・絵描き・踊り手・歌手）

事務局よ

【自助・互助が始まるときとはどんなときか】

講師の坂口氏は双極性障害の当事者でもあります。ときにその奇抜な発想やパフォーマンスに意表をつかれるかもしれませんが、根底にあるのは生きることへの熱い探求心です。坂口氏の言う「パブリック」は介護予防事業がうまく展開できずに疲弊する行政や、理想と収益のはざままで苦しむ医療・福祉の関係者が、思考を転換するきっかけになるのではないかと思います。著書の中に「自分のやりたいことではなく、『自分がやらねば誰がやる』ということをやらなければならない」とあります。自分の役割を深く考えることは、連携を行う上で不可欠なのではないでしょうか？

- 企画演題① テーマ：「スポーツを通じて共に生きる社会を目指す」
講 師：ライトニング滋賀（ボッチャ） 江川 拓馬 氏
競技アシスタント（ボッチャ） 大西 遼馬 氏
NPO 法人琵琶湖ローイング CLUB（ボート） 山岡 彩加 氏
滋賀県障害者スポーツ協会 伊勢坊 美喜 氏

事務局よ

【障害のあるなしを超えてスポーツを楽しむ】

スポーツについては外から何となく見ているのと、体験するのでは得られるものが大きく異なります。今回、会場にボッチャの体験ブースを設けました。せっかくの機会なので是非多くの方に、ボッチャのパラリンピック強化選手に挑戦して頂きたいです。江川氏は自力でボールを持つことはできませんが、ゲームの中で見事な戦略を見せてくれます。同じフィールドで戦ってみると、きっとかっこいいと感じて頂けると思います。

（裏面に続きます！）

- 企画演題② テーマ： 「働くことを通じて共に生きる社会を目指す」
講師： （当事者の立場から）重度身体障害の当事者
（支援者の立場から）特別養護老人ホームヴィラ十二坊
施設長 森本 信吾 氏

事務局よ

【インクルーシブな社会の就労とは何かを考える】

医療関係者は登壇される障害当事者の障害部位を聞いて、働く姿は想像できないのではないかと思います。その「働く」姿に、支援とは何か、考えるきっかけになると思います。障害者が働くことについて、当事者、雇用側の両方からお話し頂きます。障害者雇用が義務や労働力の確保だけでなく、職場という小さな社会に多様性を生み、それが地域共生社会の実現につながるのではないのでしょうか？

○演題発表

○ボッチャ等体験ブース・構成団体展示ブース